# NETIS 機能操作マニュアル (オンライン活用効果調査表作成) 【施工者用】

(ver.2.0)

# 令和4年3月

1.	目的	. 1
2.	システムの機能	. 1
3.	機能利用時の留意点	.2
4.	本操作で利用するシステム	.3
5.	オンライン活用調査表作成の操作手順	.4
	5.1. 実施フロー	.4
	5.2. 実施手順	.5

## 1. 目的

本書では、新技術情報提供システム(以下「NETIS」という)において、オンライン活 用効果調査表作成を行うためのシステム操作手順を解説します。

## 2. システムの機能

オンライン活用効果調査表作成システムの機能は、以下に示すとおりです。

番号	利用者	実施内容
1	調査者	・オンライン活用効果調査表(施工者)の作成
	(施工者)	・オンライン活用効果調査表作成用 ID・パスワード (施工者用)
		の発行申請
		・オンライン活用効果調査表作成用 ID・パスワードの保管(施
		工者用)

表 2-1 オンライン活用効果調査表作成システムの機能

#### 3. 機能利用時の留意点

- (1) メールの送信について
  - オンライン新技術申請では、メール配信による各種通知を行います。
     受信環境によっては、通知されたメールが迷惑メールと判断されてしまう可能
     性があります。メールが通知されない場合は、メールが迷惑メールとしてフィルタリングされていないか、ご確認ください。
- (2) 活用効果調査表作成用の ID・パスワードの管理について
  - オンライン活用効果調査表作成にあたり、ID・パスワードが必要になります。
     ID・パスワードは調査者(施工者)が発行申請後、調査者(発注者)が申請を 承認することで発行されます。
     承認後、施工者用 ID・パスワードのみ記載されたメールが調査者(施工者)へ
     送信されますので、受信後紛失しないよう管理をお願いいたします。
     ※ID・パスワードを紛失してしまった場合は、調査者(発注者)へ問い合わせ ください。
  - オンライン活用効果調査表作成では、1件の活用効果調査表につき1つのID・ パスワードが必要となります。複数技術の活用効果調査表作成や、複数工事の 活用効果調査表作成が必要な場合は、作成する調査表毎にID・パスワードの申 請・発行をお願いいたします。
- (3) システムへの初回アクセス時の画面表示について
  - システムへ初めてアクセスする場合、アクセス解析のためのユーザ情報選択画 面が表示される場合があります。
     画面が表示された場合、お手数ですが情報を選択・送信のうえ、再度手続きを 実施いただくようお願いいたします。
- (4) チャットボットの動作環境について
  - ・本システムでは操作解説用のチャットボットを設置しており、チャットボットの動作には以下の要件が必要となります。チャットボットは以下が許可された環境でご利用いただくよう、お願いいたします。
    - ▶ Javascript が利用可能であること。
    - ▶ 以下の外部 URL の参照および Websocket 通信が許可されていること。
      - ① https://app.webchat.obotai.com/loader/?cid=azHfiyfcWA
      - $\textcircled{2} \ \texttt{https://hosting-for-customers.obotai.com/v2/common/latest/obotai-chatbot.js}$
      - $(\texttt{3} https://hosting-for-customers.obotai.com/v2/netis/obotai-chatbot.css \\ } \\$
      - ④ https://socket.webchat.obotai.com/
      - 5 wss://socket.webchat.obotai.com/

# 4. 本操作で利用するシステム

オンライン活用効果調査表作成では、以下のシステムを利用します。

- ① NETIS 公開ページ
  - · URL : http://www.netis.mlit.go.jp/netis/

・オンライン活用効果調査表作成のための ID・パスワード発行申請や情報入力・申 請、登録後の情報の閲覧を実施

COS DEPARTA	
調査を描す	What's NEW
教皇キーワード 	2009年30月23日 今代元年度末にACTS連載期間を加えた214期時について、NDTS連載を除了しま 2009年30月23日 ACTS連載期間の「PRPA」「ACTS連載期間が了が用りストリニマ技術系作等の提供 2019年30月30日 2010年33月14日 七月4日開発リストを実施しました。
ARABINE CREATE CARACTER AND	Lasanna
REALER CONTROL CONTRACT CONTRACT CONTRACT CONTRACT CONTROLS CONTROLS CONTRACT	2005年6月22日 日本日本主要加強的な多くの回転通工ー会社工学校における新聞的第三人よんの 2015年6月20日 日本日本主要加強的な多くの回転通一会社工学校における新聞の第三人よんの 2015年6月20日 日 日本日本主要加強的な多くの回転第二会社工学校における新聞の第三人よんの
18 	リーユーアルに開するお問い合わせ
日本市中でも取てきたませなん 日本市本へのあるの時日 日本員をのたよ 日本主地の作よ 二式工程中へのあるの時 このな力では取取 またたちをである。	
####################################	

# 5. オンライン活用調査表作成の操作手順

## 5.1. 実施フロー



オンライン活用効果調査表作成の実施フローを次に示します。

図 5-1 オンライン活用効果調査表作成 実施フロー

#### 5.2. 実施手順

オンライン活用効果調査表作成の実施手順を次に記載します。 ※各内容には、以下の凡例に従い操作者を記載しています。 ・【調査者(施工者)】:調査者(施工者)が行う操作

#### (1) 調査表確認者用 ID・パスワードの発行

調査表確認者用 ID・パスワードは、あらかじめ受付窓口で設定を行います。
 作成する調査表に対応する調査表確認者が登録されていない場合、提出時にエラーとなりますので、エラーが生じた場合は受付窓口へ状況確認をお願いいたします。

- (2) オンライン活用効果調査用 ID・パスワードの発行
- ② 【調査者(施工者)】調査者(施工者)は、以下の手順に従い、オンライン活用効 果調査表作成用 ID・パスワード発行の発行申請を行ってください。

※オンライン活用効果調査表作成では、1件の活用効果調査表につき1つのID・パ スワードが必要となります。複数技術の活用効果調査表作成や、複数工事の活用 効果調査表作成が必要な場合は、作成する調査表毎にID・パスワードの申請・ 発行をお願いいたします。





NETIS	術情報提供システム	71	( <u>)</u>
	TECHNOLOGY INFORMATION STST		
		ロクインIU//W朝税登録フォーム 活用効果調査専の作成・登録に必要なログインID/バスワードを新規発行します。 以下の内をた入力の上述使してください。	
		調査原を作成する新技術のNETIS番号 TH-200004	
	2334A		
	安注者名		
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		~
	工事名		
II	のコリンズ番号		
調査者	(施工者) 氏名		
調査者(施工者)	メールアドレス		
	監督者氏名		
監督者	メールアドレス		
		監督整直へ理ジメールを送付します。 理ジが取れ次第、ご指定のメールアドレスへID/PWIのお知らせメールが握きます。 申請 キャンセル	
新技術の検索 新技術の登録申請	テーマ設定型の比較表	プライバシーポリシー	
一中請請報	マッチング	著作権等について	
一評価情報	維持官理技術の技術 営災復旧・復興支援技術の検索	利用い含せ	

※調査者(発注者)が、①で申請された ID・パスワードの承認を行います。
※承認後、施工者用 ID・パスワードのみ記載されたメールが調査者(施工者)へ送信されますので、受信後紛失しないよう管理をお願いいたします。
※ID・パスワードを紛失してしまった場合は、再発行が必要になりますので、調査者(発注者)へ連絡してください。

- (3) オンライン活用効果調査表の入力(施工者)
- 【調査者(施工者)】調査者(施工者)は、「(2) オンライン活用効果調査用 ID・ パスワードの発行」で取得したオンライン活用効果調査用 ID・パスワードを利用 し、以下の手順に従ってオンライン活用効果調査表の入力を行ってください。

「(2) オンライン活用	月効果調査用 ID・パスワードの	発行」で自動送
メールに記載されてい	る ID・パスワードを確認後、	メール本文のリン
リックし、オンライン	活用効果調査表入力用ページに	アクセスする。
新技術活用工事		
ご担当者様		
NETISオンライン活用効果調査表入力 以下のID/PWで、活用効果調査表入て ※ID/PWはログインに必要となりますの	用ID/PW発行申請が承認されましたので、ID/PWをお知 カ用Webサイトヘログインの上、活用効果調査表の入力 ので、紛失しないよう保管をお願いいたします。	らせします。 をお願いいたします。
[ID/PW]		
ID・パスワードが記載され	3	
【新技術活用工事情報】		
活用効果調査表を作成する 本情報が記載される	活用工事の基	
	クリックすると   オンライン活用対	果調査表入力用ページ
【活用効果調査表入力用Webサイト(新	庖工者用)】 クマクトフ	

<ol> <li>表示された Web ページに「(2) オンラの発行」で自動送付されたメールに記載</li> </ol>	イン活用効果調査用 ID・パスワード されている施工者用 ID・パスワード				
を入力し、ログインする。	を入力し、ログインする。				
NETIS 新枝新聞報題係システム NEW TECHNOLOGY INFORMATION SYSTEM	<u>@</u>				
活用効果調査表の	D作成・登録				
対象技術 OK-1 対象技術名 クラウト型転圧管理	70005 システム(SmartRoller)				
ログインID パスワード					
ロジインID/ パスワートをお存さ 新規登録をお薄い ログインID/ スワート	いないわえごちつから します。 *を新見登録				
9 ロガイン(谷) 末二された Web or witzer	6田林田調木桂却な1 カナス				
3. ログイン後、表示された Web ペーンに得 ・ 作業中断のため、入力内容の一時保存もす	5用効未調査情報を入力する。 可能。一時保存した内容はシステムに				
保管され、再度ログインすると復旧され	3. 3.				
	୍				
838 <b>1949214</b> P-V235 V-V27					
NUMBER         NOTICE         NOTICE<					
内容を一時保存 入力ページを切り替え					
CINERATY + Instantial sectors(is, **+reista), 					
이네고 [1] 또() 또() () () () () () () () () () () () () (					
	操作解記用チャットを記動				
情報を入力					
	2000.000.177				
   ※その他入力画面の詳細は、「巻末資料 オ	ンライン活用効果調査表画面一覧」を				
ご確認ください。					
※システム上のタイムアウト設定は 120分	こ設定されています。 <mark>タイムアウト発</mark>				
生時は、入力情報が消失してしまいますの	ので、ご注意下さい。				
※利用環境により設定よりも短くタイムア	ウトが発生する可能性がありますの				
<u>で、                                </u>	<u> 施い/こ7こく</u> よりわ願いいたしよす。				

■チャットボットの操作方法について

画面左下に表示されているチャットボット起動ボタンをクリックすると、操作解説用 チャットボットを起動することができます。



※チャットボットが起動しない場合は、チャットボットに必要となる通信が許可され ていない可能性があります。以下の内容についてネットワーク設定上許可が行われてい るか、確認をお願いいたします。

【チャットボット動作に必要な設定内容】

- ▶ Javascript が利用可能であること。
- 以下の外部 URL の参照および Websocket 通信が許可されている
  - こと。
  - 1 https://app.webchat.obotai.com/loader/?cid=azHfiyfcWA
  - $\textcircled{2} \ https://hosting-for-customers.obotai.com/v2/common/latest/obotai-chatbot.js}$
  - $(\texttt{3} https://hosting-for-customers.obotai.com/v2/netis/obotai-chatbot.css } \\$
  - $\textcircled{ } \\ \texttt{ https://socket.webchat.obotai.com/ }$
  - (5) wss://socket.webchat.obotai.com/



4.	調査者(施工者)は、活用効果調査情報の入力完了後、入力が完了したページ の「記入完了」チェックボックスをチェックしたうえで、画面上の「登録」ス ないたなり、なけ、など、エラーチームなど行われ、した中容に不能
	タンをクリックする。クリック後、エラーチェックか行われ、人力内容に不住 がある場合は、該当箇所が表示される。入力内容に問題がない場合は、内容な
	システムに仮登録され、調査者(発注者)に内容確認および調査表入力依頼メー ルが自動送信される。
	NETIS REREALER VALUE CONSTRUCTION CONSTRUCTURA CONSTRUCTION CONSTRUCTION CONSTRUCTURA CONSTRUCTU
	C FREEXAT * (monoshis) mediaetika (kasakatak) C FREEXAT * (monoshis) mediaetika (kasakatak) C FREEXEXAT * (monoshis) (kasakatak) C FREEXEXAT * (monoshis) (kasakatak) (masa FREEXE (monoshis) (kasakatak) (masa FREEXE (monoshis) (kasakatak) (kasakatak) FREEXE (monoshis) (kasakatak) (kasakatak) FREEXE (monoshis) (kasakatak) (kasakata
	入力完了後、「記入完了」をチェック
	REAL AF INDERFOR
<u>&gt;</u>	※入力完了ページの「記入完了」チェックボックスがチェックされていないと、 記入完了と判定されませんので、完了時は必ずチェックしてください。

#### (4) オンライン活用効果調査表の入力(発注者)

※記載内容に問題がある場合は、調査者(発注者)よりメール・電話等で修正依頼が あります。調査者(施工者)は、修正依頼内容に従い、「(3) オンライン活用効果 調査表(施工者)の入力」の作業を行ってください。

#### (5) ID/PW の再発行

 オンライン活用効果調査表作成にあたり、ID/PW がわからなくなってしまった場合、ID/PW の再発行が必要になりますので、電話・メール等で調査者(発注者) へ連絡してください。

# 別添資料

# オンライン活用効果調査表画面一覧

<b>画面番号</b> 1 <b>画面名称</b> 「新技術活用計画書・実施報行	告書」タブ	
概要「新技術活用計画書・実施報告書」を入力する画面。		
	No.	
	1	画面を閉じる。
	2	入力データをシステム上に一時保存する。
RETER A	3	印刷・プレビュー画面を開く。
888 00:000 1970 886 00:000 1970 1970 886 00:000 1970 1970 1970 1970 1970 1970 1970 1	4	・調査者(施工者)入力時:エラーチェック後、情報をシステムに仮登録し、監督者・
88 - 985 (2005) 288 (8×1245) 38840 (201492) 2014 (20149)		メール通知する。
		・監督者入力時:エラーチェック後、情報をシステムに登録する。
DERERATION DISEEDENTIAL CONTRACTOR CONT	5	新技術情報・活用工事情報を表示する。
844, 4×22 3997 0 1 1	6	入力ページの切り替えを行う。
	7	「記入完了」のチェックボックス。チェックすることで該当部分の記入が完了してい
844-3451 1980-04-1471		ものとしてエラーチェック、登録等の処理が行われる。
(8) #1-117-4-1-70881CC02014*	8	活用効果調査情報を入力する。
NEE Individ	9	テクリス・コリンズ番号や連絡先メールアドレス等の変更を行う。
INTERNIT AN INCIDENT VIEW		
単年、19年4、1月の日本には1月日により 単語教育業は、Microsofie 目目の日本には、「Alling and Alling and A		
The second		
CORN. AND PERIOD		
17-4100044645(1704). BERING ADDITION ADDITION		
<pre>## Riterate##RestLices ## Electrony ###</pre>		
ANNE CELTE CELTE CELTE CELTE CENTE CARE AND		
188		
- CAR - SAN - SAN - SAN		
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
ta shing Copyr 101 be hing i bases (an 1) by far		

你良怕 々?ノイ?伯用劝不明且我回出 舅
----------------------



你具料 オイノイノ伯用効本明直な回回 見	添資料	オンライ	ン活用効果調査表画面	ī一覧
----------------------	-----	------	------------	-----

88
明
7後、情報をシステムに仮登録し、監督者へ
をシステムに登録する
フすることで該当部分の記入が完了している
いけれれる。
ドレス等の変更を行う。